



日本共産党 荒川区議会議員

# 横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

12月号外 2022年12月  
日本共産党荒川区議会議員団  
区役所控室 3802-4627  
横山事務所 &fax  
3895-0504  
荒川区町屋5-3-5

定例法律相談  
毎月第一月曜日  
18時~20時  
横山区議事務所  
お気軽にご相談を

## 荒川区政の課題...

### こどもの権利条約4つの原則

- 生命、生存及び発達に対する権利 (命を守られ成長できること)
- 子どもの最善の利益 (子どもにとって最もよいこと)
- 子どもの意見の尊重 (意見を表明し参加できること)
- 差別の禁止 (差別のないこと)



# 誰もが安心して暮らせる荒川区へ 区民の声を届け、願い実現に全力

	人口	対象人数	必要経費 (就学援助含)	一般会計 予算規模
荒川区	約21万人	12,531人	約17億円	1071億円
葛飾区	約46万人	29,369人	約6.5億円	2120億円

葛飾区は来春から完全無償化へ

学年	年間負担額	
	低学年	高学年
小学校	45,008円	50,440円
中学校	55,096円	60,291円

2022年から23年へ、みなさんとともに「くらしに希望」をひらくために、511項目の予算要望を区に出しています。重点要望などをご紹介します。(裏面も)

**子育て支援 「子どもの権利条約」の制定と具体化を 学校給食無償化、保育士の増配置など**

荒川区議会では、「子どもの権利条約」制定に向けて区とともに取り組みを進めています。条例制定に合わせて、貧困や虐待、いじめ問題などの解決に向けた具体化が急がれます。

日本共産党区議団は、これまで質問や条例提案で学校給食の無償化を繰り返し求めてきました。子育て世帯の支援、子どもの貧困対策、食育推進などの点でも無償化は重要です。

全国では、すでに25

	2020年		2015年	
	人数	比率	人数	比率
一人暮らし高齢者	15,281	30.3%	12,576	25.7%
高齢者のみ世帯	7,987		7,446	
高齢者だけの世帯人員合計	31,448	62.4%	27,713	56.6%
高齢者人口	50,411		48,930	

減、医療費負担増：さらに来年度の介護保険料値上げ、サードピスの引き上げなど高年齢者いじめが計画されています。また貧困や一人暮らし高齢者の増

荒川区高齢者福祉都宣言は、「老人は敬われ：人として尊重」「幸せに」「安心して暮らせるまち」をめざすとしています。

自公政権による、年金削減、医療費負担増：さらに

### 高齢者支援 「高齢者福祉都市宣言」の区にふさわしく 介護保険の負担軽減と区独自の福祉拡充を

加しています。宣言にふさわしい高齢者支援が求められています。介護保険や区独自の福祉サービスの拡充が必要です。共産党区議団は、重点要望として：補聴器購入助成の所得制限見直し、助成額を実態に見合う額に引上げ、来年度の介護保険改定では、保険料値下げと減額免除制度の拡充、特別養護老人ホームなど介護施設の増設、高齢者のための住宅確保と養老助成など求めています。



保育士、スクールカウンセラーなど増員を  
また、保育園での園児虐待など報じられています。

また、保育のあり方・質が大きな課題です。保育士の配置基準の引上げなど区独自の対策も必要です。

また、学校でのいじめや不登校問題などに対応したスクールカウンセラーなどの専門家の全校配置なども待たなければなりません。

こうしたところに予算を回してこそ、「子どもの権利条約」を制定する区にふさわしい姿勢だといえるのではないのでしょうか。

### 産業振興 「産業振興基本条例」の精神を生かすときです 原材料・物価高騰下での事業継続へ支援拡充を

区の産業振興基本条例は「地域経済が区民生活の礎」と位置付けています。そしてその主役は、区内中小事業者です。しかし、コロナ、原材料・物価高騰などでかつてない厳しい状況に置かれています。さらにゼロゼロ融資借り入れなどで過剰債務になっていく事業所も少なくありません。

産業振興基本条例を持つ区と

2021年度末残高	↑	1,006億円
2019年度末残高		456億円

(都保証協会全体の残高は、6兆7,633億円)  
荒川区あっせん融資残高

2021年度末残高	↑	189億円
2019年度末残高		110億円

(区のあっせん融資残高は、都信用保証協会の残高に含まれている)



区内業者を支援する相対体制を強化、ゼロゼロ融資などによる過剰債務削減に地域金融機関などと共同した中小事業者支援の支給を求め、区独自の支援金給付を実施など緊急に対応することを求めています。

### まちなぎの読あれこれ 今年も区役所前・荒川公園の松に雪吊り まちの景色も師走、冬支度の様子が...

今年も区役所前の公園の松に雪吊りが施されています。昔、区の公園課に現業の職員がいたころには、この技術を伝承していたそうです。現在区の現業部門は外部委託されており誰が作ったのでしょうか。



ところで、街を歩くとそこかしこに師走、冬の風景が目に入ります。私の事務所のある電化通りの商店会でも年末の福引を行っていました。ところでいつも冬になるとやってくる尾久の原公園の鴨たちは現れたのでしょうか。 横山幸次



# 2022~23年…町屋地域のまちづくりの課題を探る



## 町屋5、6丁目のバリアフリー化を急いで

この地域には、都営住宅、高齢者・障害者施設、保育園などが集中しています。歩道上の電柱移設撤去、段差解消など思い切った対策が必要です。また黒枠内は、明白な交通不便地域です。

### 町屋さくらの復活など交通手段を

町屋さくらに廃止は、多くの住民の移動手段を奪い、以前の生活を維持できなくなっています。一刻も早い復活と移動手段の確保を



町屋公園(町屋7)整備は住民参加で区内でも一人当たりの公園面積が少ないのが町屋。町屋7丁目公園と尾竹橋公園を一体で整備します。区民の声を反映させながら整備を進めてほしいものです。



毎年、安心して住み続けることのできる地域の課題をこいしよに考えてきました。ぜひご意見などお寄せください。

## 町屋8丁目都住の周辺は、交通不便地域

8丁目都営住宅の前を走っていた町屋さくらが廃止されて困っている住民も多くおられます。

一番近くの都バスの停留所まで約400m以上、町屋駅までは1キロ近くあります。町屋さくら復活や移動手段の確保は切実です。



## 町屋地域の防災・福祉のまちづくり

不燃化特区だけでなく、町屋1丁目をはじめ危険度の高い地域は多く存在しています。

地域内の公有地の確保(公園や防災スポットなど整備)、道路の拡幅、危険なブロック塀の除去、そして何よりも住宅の耐震・不燃化です。そのために、安全住宅に住むための支援を抜本的に強化する必要があります。

また、不燃化特区内では、空き家など除却した跡地が結構目立っていますが、ぜひ公有地として活用してほしいものです。



## 町屋2、3、4丁目の防災まちづくり

なんといっても、住宅の耐震、不燃化、生活道路拡幅など待ったなしの地域です。

### この地域にふれあい館の建設を

区は、北村園倉庫跡地への建設を検討中。

## 今週のデータ 老朽化した橋など全国3万以上 国民の安全を守るならこっちはしょ

「老朽化した橋が落ちた」、トンネルが崩れた…老朽化するインフラの危険性が高まっているニユースを目にしました。全国74万の橋とトンネルを調べると点検で対策が必要とされながら手が付けられていない数が3万3390もあり今後増え続けることとです。



【共産党区議団 緊急・重点要望より…まちづくり】  
屋内安全対策100%へ区補助拡充を命守る簡易耐震工事への補助…など  
地震で負傷する約30%が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。東日本大震災では、火災の54%が通電火災です。建物が壊れなくても、通電火災と家具転倒落下で多くの被害が出ています。区の補助制度は、家具転倒防止器具設置で一般家庭2分の1補助で上限1万円。お隣足立区は、限度額5万円です。思い切った補助拡大で、屋内安全対策100%実施を求めます。

また住宅耐震化は命守る第一歩です。しかし経済的な様々な理由で耐震化できていない住宅に住まざるを得ない方が少なくなっています。移動の自由を保障するまちづくりを町屋さくら復活と全域の公共交通を今年3月末で町屋さくらが廃止され、利用者の足が奪われました。一方、区内では、高齢化などに対応して、コミュニティバスの新路線、新たな実証実験に踏み出すところが増えていきます。

荒川区のよ  
「税金は使わない」と行政姿勢はやはり異常です。こころした姿勢の転換と町屋さくらの復活、町屋尾久、日暮里など全区的な交通不便地域の実態調査を行い、区として地域公共交通政策の策定を求めています。

